

ニューラルネットワークを用いた異なるフォントの文字認識

自主課題研究

3 年 249

堀田 和広

1. 目的

異なるフォントの文字認識を、ニューラルネットワークを用いて行い、その汎化能力を検証する。

2. 原理

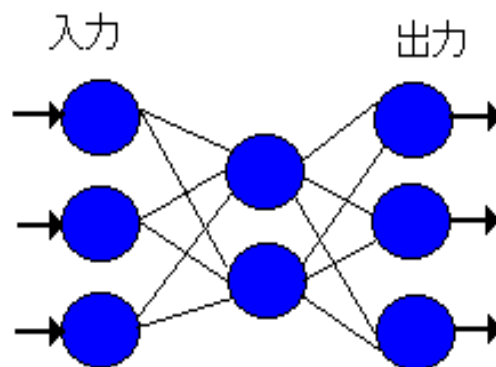


図1、ニューラルネットワーク

本実験で用いたニューラルネットワークでは学習に入力と目的値の組み合わせを用意し、入力をニューラルネットワークに通したとき、出力が目的値になるように重みを調整する。その後学習に使われていないデータを入力して判別を行う。

3. 実験方法

今回の実験では画像を（8×6）に圧縮したものを最大値で割り正規化、また、正規化したものとエッジを出したものをニューラルネットワークの学習に使用する。